



公益財団法人日本YWCA

2021年度事業報告

事業年度: 自)2021年4月1日 至)2022年3月31日

公益財団法人日本YWCA 2021年度事業報告

事業年度: 自)2021年4月1日 至)2022年3月31日

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大により、2020年度同様、対面でのプログラムの実施はかなわなかった。多くの企画がオンラインでの実施となったが、オンライン会議のスキルもあがり、新たな可能性も感じている。そのような状況のもと、「今できる形で」実施するための工夫や検討を重ねて、以下の事業を実施した。

1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業 (公益目的事業1)

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題をこに若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。これまで大切にしてきた、課題の現場への訪問を重視したフィールドワークの実施はかなわなかったが、オンラインを活用することで国や地域の垣根を越えて国際社会に貢献する次世代の人材養成を行うことができた。

■ひろしまを考える旅

「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島で実施する2泊3日(オプションツアー参加の場合は3泊4日)のプログラム。2020年、2021年度は、COVID-19の感染拡大の影響を受け、現地での旅は実施できなかったが、1971年に始まった平和な世界を目指す旅は、2021年に50周年を迎えた。2020年8月6日に開設した「ひろしまを考える旅50周年記念サイト」は、2021年度はユースボランティアが活動を継続、50年の歩みをユースたちが知ろうと、さまざまな角度から調べ、言語化し、これまで「ひろしまを考える旅」を担ってきた方々にインタビューも実施した。今後は、日本YWCAのサイトで公開していく予定。

インタビュー実施日: 2022年1月23日(日)、2月27日(日)

■選挙への取り組み

選挙に行こう! キャンペーン 実施期間: 2021年10月8日(金)~10月29日(金)

「一人ひとりが大切にされる社会」の実現のためには、今の政治をかえることが必要と考え、2021年の衆議院議員選挙では、キャンペーンを実施した。そもそも「選挙とは何か」「投票するとはどういうことか」「若い人たちにきかず、選挙に関心を持つにはどうしたらよいか」などを考え、SNSと紙媒体で発信した。今後も、今回の取り組みを活かしていきたい。

■日韓ユース・カンファレンス

オンライン実施日: 2021年9月4日(土)、10月2日(土)、11月13日(土)

日韓ユース・カンファレンスは、日本と韓国の30歳以下のユースが寝食を共にしながら、日本・韓国に共通す

るさまざまな問題について共に学び、対話・交流する、草の根の国際交流プログラムである。1993 年以來、韓国・日本を毎年交互に会場として開催し、平和を創造するユースのリーダーシップ養成に貢献してきた。プログラムの企画・運営は、30 歳以下のユースを中心とした実行委員会が担う。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響のため、9~11 月にかけて、月に 1 度、オンラインでの出会いを 3 回繰り返す形での実施となった。テーマは「LGBTIQ+と宗教」。LGBTIQ+という言葉やあり方は、多くの人にとって以前より身近なものと感じられるようになっていっている中で、このプログラムでは、宗教、特に日韓のキリスト教コミュニティと聖書の中で、セクシュアル・マイノリティがどのような状況に置かれてきたのか／どのように理解されてきたのか、ということに焦点を置いて、学び合った。3 ヶ月に渡る本プログラムは、若者、若い女性を中心とした委員によって企画運営し、今年をはじめて参加したメンバー、何年も続けて参加し、日韓ユース・カンファレンスを大きく、豊かなプログラムにしてきたメンバー、関わり方のさまざまな若者のチームが、オンライン開催という制約の中、少しでもベターな方法を模索し尽力した。

2. 青少年の健全な心身育成に資する事業（公益目的事業 1）

毎夏、豊かな出会いの中で思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象に以下のカンファレンスを実施してきた。2021 年度には 3 つの地区カンファレンスのオンライン開催が実現、東京 YWCA や京都 YWCA のユースがワークショップを提供するなど、中高 YWCA 参加者が「少しだけ年上」の人たちに出会う機会にもなった。2022 年には完全オンラインで中高 YWCA 全国カンファレンスを実施予定。

■東北・北海道地区カンファレンス

実施日:2021 年 8 月 4 日(水) 参加校:6 校 参加者:57 名

テーマ:平和

内容:開会礼拝、各校活動紹介、仙台 YWCA、ユースの活動、京都 YWCA の RUSV チーム WS「メディアとジェンダー」

■関東地区カンファレンス

実施日:2021 年 8 月 2 日(月) 参加校:8 校 参加者:105 名:

テーマ:これからのリーダーとは~セーフ・スペースをつくりだすこれからの YWCA

内容:開会礼拝、セーフ・スペースの説明、各校活動紹介、東京・横浜 YWCA の RUSV チーム「同意と意思決定」、感想文の時間、閉会の祈り

■)関西+西南地区カンファレンス

実施日:2021 年 7 月 29 日(木) 参加校:11 校 参加者:145 名

テーマ:コロナ禍の今、多文化共生とどのように向き合っていくべきか

内容:開会礼拝、オリエンテーション、YWCA アワー(生理の貧困とルッキズム)、各校活動紹介、プール学院中高・ルーテル学院中高のプレゼンテーション、分かち合い

■中高 YWCA 顧問総会・研修会

日本 YWCA に加盟する学校 YWCA の顧問を対象とする研修と、1 年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を毎年実施している。2021 年度はオンラインで行った。

<中高 YWCA 研修会>

実施日:2021 年 12 月 27 日(月)

参加者:22 名

プログラム: 開会礼拝、研修—講演 大藪順子、ワークショップ 東京 YWCARUSV チーム「パートナーシップを考える〜「性的同意」って何?〜顧問総会、交流会、閉会礼拝

<中高 YWCA 顧問総会>

実施日:2021 年 12 月 27 日(月)13:00~14:00

出席: 16 校 18 名 委任:14 校 欠席:7 校 陪席:4 名

主な議事:2022 年度の全国カンファレンスについて、2022 年度中高 YWCA 委員について、2022 年度顧問総会・研修会の日程

3. 国連機関および国内外の NGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界YWCAとの連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

■Big 6 主催「グローバル・ユースサミット」への参加

日程:2021 年 4 月 23 日(金)~25 日(日)

方法:Youtube によるオンライン

日本 YWCA からの参加者:3 名

若者のエンパワメントを目指す 6 つの国際団体(世界 YWCA、世界 YMCA 同盟、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟、世界スカウト機構、国際赤十字赤新月社連盟、青年のためのインターナショナル・アワード(The Duke of Edinburgh's International Award))が、WHO と国連基金の協力を得て、若者主導のコロナ対策プロジェクトを推し進めている。その一環で、4 月 23 日(金)~25 日(日)には、コロナ禍で若者が直面している課題や解決策について協議するためにグローバル・ユースサミットが開催された。

■世界 YWCA 主催「#Bullet and Dove」バーチャルパネル登壇

実施日:2021 年 6 月 23 日(水)

テーマ:From Solidarity and Peace Resolutions to Reality on the Ground (連帯と平和条約から現地の現実まで)

登壇:パレスチナ YWCA、日本 YWCA、アルメニア YWCA、各 1 名

■日本 YWCA・パレスチナ YWCA 共催ウェビナー開催

実施日:2021 年 6 月 26 日(土)

テーマ:「パレスチナとつながる夜! オンライントークイベント『空爆・停戦から1カ月、若い女性たちが語るガザと東エルサレム』(“The Palestinian Struggle Can No Longer Be Silenced”)」

パネリスト:7 名中、日本 YWCA より 3 名

参加者:168 名

■UN Women 主催/フランス・メキシコ両政府共催 Generation Equality Forum への参加

日程:2021 年 6 月 30 日(水)~7 月 2 日(金)

日本 YWCA からの参加者:5 名

目的:北京行動綱領採択から 25 年目の節目に、ジェンダー平等を目指す国際的な動きを加速させるために、各国政府や国連機関、市民団体、民間企業、慈善団体などの多様なセクターが集結し、2026 年までの 5 ヵ年計画を策定すること。

■世界 YWCA 主催「世界 YWCA ダイアログ」

実施日:2021 年 8 月 26 日(木)

日本 YWCA からの参加者:3 名

■インド YWCA・バングラデシュ YWCA・日本 YWCA 共催 国際平和デー記念ウェビナー

実施日:2021 年 9 月 21 日(火)

日本 YWCA からの参加者:1 名

核兵器撤廃を求める発信を含め、日本 YWCA の平和への取り組みを報告。

■韓国開催「アジアの平和と女性の役割」に関する国際セミナー

実施日:2021 年 11 月 25 日(木)

主催者:「アジアの平和と女性の役割」に関する国際セミナー実行委員会

日本 YWCA からの参加者:1 名

1991 年に実施された「アジアの平和と女性の役割」から 30 年を記念し、朝鮮半島・東アジアの平和に関する今後を考える国際セミナーにて登壇。

■日本 YWCA・パレスチナ YWCA 主催 ウェビナー「パレスチナの今とガザの子どもプログラム報告会」

実施日:2021 年 11 月 29 日(月)

登壇:6 名中、日本 YWCA より 1 名

■第 66 回女性の地位委員会(CSW66)へのステートメント提出

提出日:2021 年 10 月 15 日(金)

2022 年 3 月開催の CSW66 は、気候変動・環境・減災をテーマとして行われた。日本 YWCA は、国連経済社会理事会との協議資格を持つ NGO として文書提出を行い、原子力発電に頼らない気候変動対策、そこにおける若い女性のリーダーシップの役割の重要性、温暖化に対する日本の責任などに関する要望を表明した。

■第 66 回国連女性の地位委員会(CSW65)オンライン参加者派遣・パラレルイベント実施

パラレルイベント実施日:2022年3月16日(水)

パラレルイベントテーマ:「Young Women's View on Climate and Disaster from Japan(日本からの気候と災害に関する若い女性の視点)」

内容:プレゼンテーション(日本の文脈における災害と女性の状況、被災者支援活動から見えてきた課題、セクシュアル・マイノリティの人々の直面する状況、地域特有の災害リスク、法的側面から見た自然災、害とジェンダー、若者が意思決定に参加することの重要性)、グループワーク・質疑応答

オンライン参加者数:79人

参加者・パラレルイベント発表者:6名

オブザーバー参加者:4名

■その他アドボカシー活動

- * 機関紙「YWCA」の企画・編集・年6回発行
- * 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- * ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- * 海外で報道されている日本の憲法等の情報を発信
- * 全国アクション(日本 YWCA Facebook キャンペーン、パブリックコメントや署名運動の呼びかけ)
- * 政策提言を必要に応じて実施
- * 衆議院憲法審査会傍聴よびかけと報告
- * 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- * 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等へ出展

<声明・要望書・賛同>

2021年

- 4月21日 東京電力福島第一原子力発電所放射能汚染水の海洋放出に反対し、撤回を求めます！
- 5月14日 「イスラエルによるシェイク・ジャラ地区の立ち退き強制・武力攻撃を止めるための行動」の要請とオンライン署名
- 5月31日 「重要土地等調査規制法案の廃案」の要請
- 6月1日 「LGBTIQを含む性的マイノリティーの人権尊重」声明表明
- 7月29日 「Korea Peace Appeal(朝鮮半島平和宣言)キャンペーン」賛同
- 9月3日 「菅義偉首相その他の日本の政党党首に対し、バイデン政権による先制不使用・唯一の目的宣言に反対しないよう要請する日本の団体・個人からの公開書簡」賛同
- 10月15日 「国連女性の地位委員会(CSW66)へのステートメント」提出
- 10月17日 「Don't Nuke the Climate—温暖化対策に原発を使わないで—COP26」声明発表
- 12月24日 「ウトロ連帯ヘイトクライム根絶声明」賛同

2022年

- 1月11日 「「グリーン」でも「持続可能」でもない原発をEUタクソミーに含めるべきでない」欧州委員会宛て要請書に賛同
- 2月28日 ロシアによるウクライナ侵攻に対する声明文

4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業（公益目的事業1）

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なトレーニングされたボランティア等の人材を養成した。

■東日本大震災被災者支援

2011年の東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故以来、により被災した女性や子どもたちを対象に、リフレッシュプログラム等中長期支援を行ってきた。COVID-19が広がり、困難な状況の中でも「福島の子もたちを何とか招きたい」と実施のための検討を重ねた。2021年度は、2020年度と状況はかわらず、実施したリフレッシュプログラムは1件のみであったが、各地域YWCAが工夫を凝らし、オンラインを使つての参加者の同窓会や、福島の今を知るおはなし会など多彩なプログラムを実施した。

* 心と身体の保養の「リフレッシュプログラム」

地域YWCAで行われたリフレッシュプログラム

・熊本YWCA 福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ

日程:2022年3月26日(土)~30日(水)

場所:立神峡里地公園キャンプ場

対象:福島県と熊本県の小学1年生~6年生

・京都YWCA コロナ禍での代替プログラムとして

①「エネルギー問題について考えるワークショップ」

実施日:2021年11月21日(日)

開催方法:オンライン

②「福島の今を知る」

実施日:2022年1月28日(金)

開催方法:オンライン

* 被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウス」

2021年度も、COVID-19の流行が利用者に大きな影響を与え、利用直前の感染状況によりキャンセルするという事態が続いた。日本YWCAでは、横浜・神戸の2軒で、主として家族単位で被災者を受け入れてきた。福島はじめその近隣県の放射能被災下にある家族および単身女性に、日本YWCAは東日本大震災被災者支援募金より交通費の一部を補助して提供。それぞれの地域YWCAの協力を得て続けている。

* 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町29-3)を運営

活動目的:

- ・地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化

を図ることを支援する。

- ・ 全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。

以上を目的として、2021年度も福島を拠点とする事業を企画した。「カーロふくしま」おはなし会はオンラインを活用し、を会場に開催していた「おはなし会」企画はすべてオンラインに切り替えて実施した。小中学生を対象とした学習支援「カーロでスタディ」は対面で行った。

- ・ カーロふくしまおはなし会
 - 6月10日(木)「東京オリンピックと福島～ドイツからみた日本の混迷を紐解く～」参加者:31名
 - 9月28日(火)「多様なわたし 多様なみんな」参加者:31名
 - 11月27日(土)「福島のわたしが呼びかける平和への想い ～高校生平和大使活動を通して～」参加者:23名
- ・ カーロでスタディ 開催日:2021年5月～2022年3月、毎月2日間 参加者:のべ106名
- ・ そのほか、「カーロふくしま」を拠点とする地域の憩いの場づくりとしてパステルシャインアート教室、会場提供など

■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

*トンガ沖海底山噴火の被災者支援

2022年1月に起きたトンガ沖改訂火山噴火の被災者支援を、パプアニューギニア YWCA、ソロモン諸島 YWCA、サモア YWCA が参加する NGO 連合とトンガの女性団体を通じ、現地に支援を届けた。

*パレスチナ YWCA の活動支援およびオリーブの木キャンペーン

2021年5月、パレスチナ・ガザ地区に行われたイスラエルによる武力攻撃により、子どもを含む多数の命が失われ、インフラと生活基盤が破壊され、7万人以上が住居を失い避難民となった。この状況を受け、日本 YWCA は、パレスチナ YWCA との連携によって以下のプログラムを実施した。

- ・ 2021年5月、オンライン署名「イスラエルによるシェイク・ジャラ地区の立ち退き強制・ガザへの武力攻撃に反対する声をあげてください」を呼びかけた(6月14日時点署名者数:6,200人)。署名は5月28日(金)、外務省中東アフリカ局中東第一課とオンラインで面会し提出した。
- ・ 6月26日(土)、パレスチナ YWCA との共催でウェビナーを実施し、現地からの報告を共有するとともに、日本からの支援を呼びかけた。
- ・ 8月11日(水)～9月15日(水)、クラウドファンディング・プロジェクト「ガザの子どもたちに心の支えを。アフタースクール・プログラム実施支援のお願い」を実施。193人から寄せられた1,238,500円の募金により、2021年10月24日～10月28日の期間、ガザ地区2か所の小学4年生から高校3年生までの少女100人を対象に、スポーツや音楽、専門家のサポートのもと色彩を通じて心を癒す「アート・セラピー」、自分の言葉で話すことを通じて心を支える「ストーリー・セラピー」、ガザ市内の遠足など、空爆を経験したガザの子どもたちが少しでもほっとできる時間を提供するプログラムが行われた。プログラムはパレスチナ YWCA が連携する現地団体 Juzoor for Health and Social Development を通じて実施された。
- ・ 11月29日(月)のパレスチナ人民連帯国際デー、上記クラウドファンディングの報告会として、パレスチナ YWCA との共催でオンラインウェビナーを実施。現地からの報告者たちは、ガザの子どもたちの

言葉を紹介しながら、軍事封鎖下の日々の困難と空爆のショックの中で子どもたちが希望を失わないで生き続けるために、日本のような海外から心を寄せ、支援する人たちの存在がいかに大切かを語った。

- ・ パレスチナ YWCA が実施している「パレスチナの難民の子どもたちの学びと成長を支援するプログラム」や「女性の自立のための職業訓練」への支援およびパレスチナにオリーブの木を植林する「オリーブの木キャンペーン」に参加し、日本国内で支援を呼びかけた。

* ウクライナ YWCA 支援の取り組み

YWCA World Service Council(米国・YWCA 世界奉仕協議会)による女性や少女のための中長期支援ならびに、YMCA の行う緊急支援活動への募金呼びかけを 2022 年 3 月 18 日(金)に開始した。

5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業(公益目的事業 1)

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集会や会議等の社会貢献活動プログラムを日本 YWCA に加盟する全国の地域 YWCA および学校 YWCA と、日本 YWCA が加盟する世界 YWCA に連なる各国 YWCA との協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野にたつ人材が育成される。

■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うためのプログラムおよび研修会

* 日本 YWCA の公益事業の企画会議(運営委員会)

2021 年

4 月 25 日(日) 5 月 15 日(土) 6 月 19 日(土) 10 月 16 日(土) 11 月 21 日(日) 12 月 18 日(土)

2022 年

1 月 16 日(日) 2 月 19 日(土)

1 月 16 日は御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターと Zoom によるハイブリッド、その他はいずれも Zoom によるオンライン。

* 全国規模の社会貢献事業の企画会議(加盟 YWCA 中央委員会)

2021 年 5 月 22 日(土)10:00~15:00

開催方法:Zoom によるオンライン

* 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修

- ・ 地域 YWCA 会長会

2021年4月24日(土) 10:00~12:00

開催方法:Zoomによるオンライン

・ **運営委員のためのワークショップ**

Aグループ: 仙台・平塚・広島・呉 YWCA

1回目 2021年10月24日(日) 参加者:27名

2回目 2021年12月12日(日) 参加者:25名

Bグループ: 函館・札幌・横浜・大阪・神戸 YWCA

1回目 2022年1月10日(月・休) 参加者:39名

Cグループ: 東京・名古屋・京都・福岡 YWCA

1回目 2022年1月23日(日) 参加者:33名

B・Cグループ合同

Bグループ: 函館・札幌・横浜・大阪・神戸 YWCA

Cグループ: 東京・名古屋・京都・福岡 YWCA

2回目 2022年3月21日(月・休) 参加者:69名

Dグループ: 釧路・福島・新潟・静岡・甲府・松山・沖縄 YWCA

1回目 2021年11月14日(日) 参加者 33名

2回目 2022年2月23日(水・休) 参加者:28名

* **全国の社会貢献事業の拠点である全国のYWCAのユースのリーダーシップ研修**

・ **全国コアユース・ギャザリング**

2021年度第1回

実施日:2021年5月9日(日)

開催方法:オンライン

参加者:18名

全国のYWCAで運営委員や役員として中心的に活躍するユースが集まり、「横のつながり」を通じて、共通する悩みへの解決策を模索する場として開催した。参加者は、それぞれの経験・知識・問題意識を出し合い、ユースがより積極的にYWCA運動に参加し、その意見が活動に反映されていくための具体的な提案を話し合った。

2021年度第2回

実施日:2022年2月13日(日)

方法:Zoomによるオンライン

参加者:16名

テーマ:ピアサポート

ユースが増えてくるにつれ、多世代間協働の機会も増加している一方で、ユースだけの場は安心するという声も聞かれている。YWCAでのユースがユースと活動すること(ピアサポート)の意義について検討した。

*** 全国の地域のYWCAで実施する社会貢献事業の協働(LA: Local Action)**

本来 2021 年 3 月で実施期間終了の予定であったが、コロナ禍で計画が実施できなかったため、2022 年 3 月末まで実施期間を延長した。

- ・ YWCA 平和の守り人 協働:札幌・函館・釧路 YWCA
- ・ 「原発があつて幸せですか」～見て つながって 創る私たちの未来～ 協働:福島・新潟・静岡・仙台 YWCA
- ・ 首都圏で知る・感じる・考える！～沖縄のいま・福島のいま 協働:横浜・湘南・平塚 YWCA
- ・ 女性のリーダーシップ養成講座「イチからわかる政治入門セミナー」 協働:横浜・静岡・湘南 YWCA
- ・ 会員のパワーアップ計画第 2 弾 協働:京都・大阪・神戸・名古屋 YWCA
- ・ 生きるとは、平和とは 協働:呉・広島 YWCA
- ・ 自然エネルギーは無限で安全！ 協働:松山・広島・呉 YWCA

*** 若い女性のエンパワメント事業を推進するファシリテーター養成講座(ユースの支援者支援講座)**

- ・ 第 1 回 なぜ若い女性のリーダーシップを養成するのか
実施日: 2021 年 10 月 9 日(土) 参加者:39 名
開催方法: Zoom によるオンライン(以下、同様)
- ・ 第 2 回 若い女性をエンパワメントするとは?
実施日: 2021 年 11 月 11 日(木) 参加者:34 名
- ・ 第 3 回 若い女性がリーダーになるために必要なこと(セーフ・スペース)①
実施日:2021 年 12 月 11 日(土) 参加者:28 名
- ・ 第 4 回 若い女性がリーダーになるために必要なこと(セーフ・スペース)②
実施日:2022 年 1 月 8 日(土) 参加者:37 名
- ・ 第 5 回 ファシリテーション・グループワーク
実施日:2022 年 2 月 12 日(土) 参加者:33 名

*** ボランティアと共に全国規模の社会貢献事業を推進するための YWCA の職員研修**

- ・ **オンラインによる 1 年目～3 年目職員研修**
実施日:2021 年 5 月 1 日(土)、6 月 5 日(土)、7 月 3 日(土)、7 月 31 日(土)、8 月 28 日(土)
対象:就職 1 年～3 年目の職員(幹事職・専門職)
参加者:20 名
内容:YWCA で働くとは、キリスト教基盤について、対人援助者としての職員の働き、「3 年後の自分」「私のアクションプラン」発表と研修計画のオリエンテーション、研修計画のプレゼンテーション
- ・ **オンラインによる 4 年目以上の幹事研修**
実施日:2021 年 9 月 2 日(木) 9 月 16 日(木) 10 月 7 日(木) 11 月 4 日(木) 11 月 25 日(木)
対象:就職 4 年目以降の幹事
参加者:7 名
内容:自分の仕事の紹介と課題のプレゼンテーション、キリスト教基盤である YWCA で働くとは、幹事に求められるスキルとは、自分自身の仕事の棚卸し、3 年後・5 年後のキャリアデザイン、キャリアデザインのための研修計画作り
- ・ **全国幹事会「オンライン分科会」**

実施日:2021年11月9日(火)

参加者:42名

内容:開会/オリエンテーション、グループディスカッション(①財務・総務、②ファンドレイジング、③多文化共生、④社会貢献活動)、全体共有、閉会

6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南4-8-8の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。

以上